



## ふじやま 7年目を迎えて

失語症友の会「ふじやま」運営委員会 池神 多加子



平成 30 (2018) 年 7 月 7 日、山梨県言語聴覚士会は失語症友の会「ふじやま」を設立しました。総勢 50 名の誰もが喜びと期待に満ちて設立集会に集まったその想いは現在に続いています。

言語聴覚士の職能団体が友の会を立ち上げ運営することは日本で初めての試みでした。会員は甲府市、北杜市、韮崎市、甲州市をはじめ広域から集い、活動は定例会

に留まらず多岐にわたる内容となっています。令和 2 (2020) 年に山梨県でも失語症者向け意思疎通支援者養成講習会がスタートし、「ふじやま」の会員がコミュニケーション支援実習に協力する機会をいただきました。家族や言語聴覚士以外の一般の方々との交流は緊張を伴ったと思いますが、持てるコミュニケーション能力を存分に発揮し、誰かの役に立てる喜びがいつしか自信に変わっていく姿を目の当たりにしました。意思疎通支援者と共に成長し、その繋がりが派遣支援活用へと発展、各々の生活拡大を後押ししています。また、令和 5 (2023) 年 9 月には「失語症全国大会 in やまなし」が開催されました。この日を待ち望んでいた全国の当事者・家族を迎えおもてなしをする役割を果たし、無事に次回開催へとバトンを繋げられた会員一人ひとりの姿は一段と逞しさを増しています。

「ふじやま」の歴史はわずか 6 年。大切な仲間との別れや出会いも経験しました。ある日の定例会で「これ（ふじやま）があるから、外に出て来られる。」と言った会員のことが胸に響きました。失語症のある方々を取り巻く制度は少しずつ変化していますが、目の前には多くの不自由さを抱える生活があります。集える場所がある、仲間や支えてくれる人達がいる、その安心感や励みが一人ひとりの一歩を踏み出す勇気になり、人と人との繋がりが生活を変えていくことを実感しています。県内には推定 2400 人と言われる失語症の当事者がいらっしやいます。日頃ハビリで接する患者さんが生活者となっても寄り添う存在でいられるよう、一人の言語聴覚士として、また職能団体として、自分の役割を果たしていきましょう。設立時に掲げたスローガン「生活の中に感動と喜びを～ここからはじまる地域とのつながり～」を胸に、さらに仲間が増えることを願いながら 7 年目も元気に歩んでいきます。



# 祝 ふじやま 7 年目突入

平成 30（2018）年に設立した失語症友の会「ふじやま」は、これまで 14 回の定例会や失語症者のつどいを開催したり、失語症全国大会へ参加をしたりしてきました。当事者・ご家族との交流の場、社会参加の場として「ふじやま」が紡いできた 6 年間の思い出を写真と共に振り返りたいと思います。



平成 30（2018）年  
7月7日「ふじやま」設立  
集会での集合写真です。  
これからどんな事をして交  
流を深めていけるか、期待  
にワクワクした日でした。

「ふじやま」の定例会は、食べることを通して交流を深めていると言っても過言ではないかもしれません。美味しい食べ物を味わいながら、自然と笑顔が溢れます。ぶどう狩り、フルーツサンド作り、流しそうめん…、食べるばかりではなく、そうめんを流す体験も楽しみました。



「ふじやま」の仲間と共に、新年会では福笑いをしたり、カラオケ大会をしたり、咲き始めの桜を見に行ったりと、一緒に季節を感じてきました。



この後、新型コロナウイルス感染症拡大で、3 年間活動が休止してしまいました…。

久しぶりの再会を後押ししてくれたのは、山梨県で開催される失語症全国大会でした。山梨県に来ていただく日本全国の当事者・仲間を精一杯もてなす準備を始めました。マスクをしながらの交流でしたが、何より久しぶりに会えたことがとっても嬉しかったという「ふじやま」の皆さんの声が印象的でした。



今後も定例会を開催しながら、「ふじやま」の皆さんがやりたい、やってみたいと感じていることを一緒にできたらと思っています。



## 「ふじやま」会員からのメッセージ

ふじやまの会をいつも楽しみにしています。みんなと話せる時間ができて嬉しいです。言葉は大変だけど、また行きたいです。ありがとう。

参加するまでは失語症のある方に会ったことがなかったです。たくさんいる事に驚いたけど、仲間がいることを心強く感じています。また参加できる日を楽しみにしています。



みんなで色々な事ができて楽しいよ。この前はヨーヨーを持ち帰ってお仏壇にも飾った（お姉さんに見せた）よ。また楽しみにしています。



セタや流しそうめんとか、趣向を凝らしたものは楽しかったです。これからも季節によって、それぞれに開催してほしいです。



山梨県言語聴覚士会失語症友の会「ふじやま」は、令和6年7月7日（日）に第14回定例会を開催しました。梅雨の晴れ間の強い日差しの中、16名の当事者さんご家族4名、失語症者向け意思疎通支援者5名、ST10名の総勢35名が集いました。グループに分かれて語り合い、七夕の短冊に思い思いの願いを込め、昔懐かしヨーヨー釣りなどのレクリエーションをして、にぎやかにひとときを過ごしました。



今回も、新しい仲間が来てくれました！  
時間が足りないほど、話も盛り上がりました



短冊は、会場のホールの七夕飾りに…  
願いが叶いますように！



身乗り出して、ヨーヨーやお菓子釣りに夢中な皆さん



ヨーヨー名人はどちらでしょう



設立7年目の今年度は全3回の定例会開催を予定しています。会員の皆様同士が気軽に語り合える場として活動を継続していきたいと思っています。新入会員さんのご紹介やSTの先生方のご参加をお待ちしています。

作成：「ふじやま」運営委員会

# 令和6年度山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会 選択科目スキルアップ研修が始まっています

今年の研修内容はST 個別・集団リハビリ、ご家族からの実態報告などを理解した中で  
更なるコミュニケーション支援技術の習得を目指します

山梨県失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会 委員長 赤池 三紀子

令和6年6月1日（土）より、今年度の「失語症者向け意思疎通支援者養成事業スキルアップ研修」が始まりました。昨年同様に全9回、県登録の支援者1～3期生30名を対象にコミュニケーション支援技法をスキルアップしていきます。現在まで6回が終了しました。夏のコロナ感染拡大時期の昇仙峡外出同行支援は少人数でしたが、他の講習会には毎回8～11名の参加があり、その顔ぶれにはこの2年間の派遣同行経験者が意欲的に参加してくれています。他県では派遣に協力するのは登録者の3割未満とされ、当県でも派遣への支援意欲が高い方は半数以下の状況ですが、毎回のスキルアップ研修を楽しく学んでいる意見を多くいただいているので、派遣支援の理解がさらに深められることでしょう。

## 第1回 「夫が失語症になった」家族の話



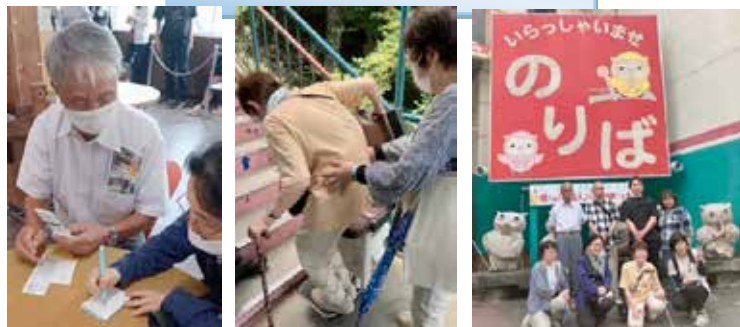
## 第2回 話を深めるためには



## 第3回 失語症グループ場面での援助



## 第4回 昇仙峡外出同行支援



## 第5回 「実習振り返り」と「すごろくゲーム」

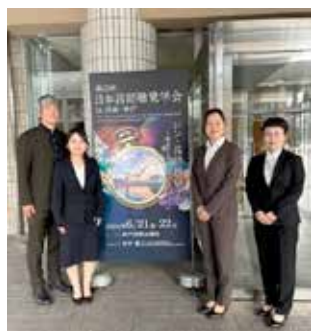


## 第6回 トランプゲームで儲ける



## 第25回日本言語聴覚学会 in 兵庫・神戸 発表記

6月21・22日に兵庫県神戸市で第25回日本言語聴覚学会が開催されました。内山前県士会長が日本言語聴覚士協会の会長に就任して初めての日本言語聴覚学会となりました。



### 甲州リハビリテーション病院

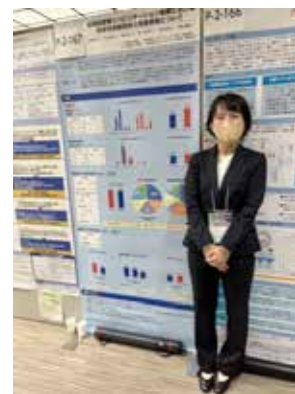
秋山 未沙貴

初めての学会発表で緊張しましたが、現地で発表でき良い経験となりました。準備期間は仕事との両立が大変なこともありましたが、学びが多くとても充実していました。また、学会では有名な先生方にお会いすることができ、貴重な機会となりました。他の言語聴覚士の発表や講演を聴き、全国にはたくさんの言語聴覚士がいて頑張っている人がいると知りとても刺激になりました。今後もチャンスがあれば発表したいです。

### 春日居総合リハビリテーション病院

志摩 美月

「当院回復期リハビリテーション病棟における経管栄養離脱率と阻害要因について」という内容でポスター発表をさせていただきました。テーマ決めやポスターの作成など初めてのことばかりで戸惑いもありましたが、データ収集を通し、当院の現状や自身の臨床を振り返る契機になりました。また、意見や質問から学ぶことも多くあり、貴重な経験となりました。今後も様々なことに興味や関心を持ち自己研鑽に励みたいと感じました。



## 令和6年度春期都道府県士会会長会議報告

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 赤池 洋

令和6年7月6日(土)、春期都道府県士会会長会議がオンラインで開催されました。会議では各部からの報告事項(研修会の案内やアンケート調査の依頼)とディスカッションが行われました。

ディスカッションでは、①士会と協会間の連携体制構築、②臨床実習指導者講習会について活発な意見交換がされました。連携体制構築では、会員情報の一元化に関わる確認事項の検討や士会と協会への入会を促す取組の強化、今後アンケート調査を行い課題や意見などを把握する予定ですので、会員の皆様のご協力をお願い致します。臨床実習指導者講習会は今年度より開催されますが、当士会理事2名が参加しますので、講習会受講後は会員の皆様に向けて情報提供していきたいと思っております。

詳細は協会ホームページや情報誌 STANDUP をご覧ください。ホームページでは常に新しい情報が更新されていますので併せてご覧ください。

# RUN 伴 やまなし

認知症対策推進委員会 委員長 山田 徹

2024年9月21日にイオンモール甲府昭和1階さくら広場にてRUN 伴やまなし2024が開催されました。一昨年から名義後援・会場内情報展示活動で参加しています。

RUN 伴（ランとも）は、認知症の人や家族、支援者、地域の人と一緒にリレーをしながら一本のタスキをつなげてゴールを目指すという全国各地で開催されているイベントです。タスキをつなぐという「非日常な」体験を通して、今まで認知症の人との接点がなかった人と、認知症の人、家族、医療福祉関係者の顔の見えるつながりが生まれます。当日は認知症の当事者、そのご家族、施設関係者・支援者等多くのランナーがイオンモール内のコースをタスキで繋ぎました。参加者の中には90歳代の方もいましたが、付添人と一緒にご自身の足でしっかりと約1kmのコースを完走されている姿が印象的でした。

情報展示ブースでは、STの仕事についての説明や、認知症の方・そのご家族の方へできる支援等について情報提示を行いました。当事者、施設職員の方等多くの方がSTブースに訪れていただき、認知症以外にも摂食嚥下障害、加齢性難聴等についての質問や悩みなどの相談対応をしました。相談対応を通してSTが積極的に地域へ出ていくことの重要性を感じるとともに、認知症・加齢性難聴等への啓発活動も積極的に行っていかなければならないという必要性も感じました。

その他、日頃顔を合わせて話をする機会がない他団体との交流を含め「顔の見えるつながり」が改めて地域共生社会の中では必要なことであるということはこのイベントを通して実感することができました。



ST 情報提示ブース



ST・PRタイム



タスキリレー



ブース内相談対応

## 新入会員紹介



石和共立病院 <sup>よしごえ</sup> 吉越 <sup>たいら</sup> 太良

この春、長野医療衛生専門学校を卒業し、石和共立病院に入職いたしました。出身は長野県飯山市です。入職して早くも半年が過ぎましたが先輩方のご指導もあり業務に慣れてきました。また、患者様とのコミュニケーションや訓練を通してSTのやりがいも感じられるようになりました。先輩方に近づけるように日々努力し、早く患者様に貢献できるSTになりたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



恵信リハビリテーション病院 <sup>ふくしま</sup> 福島 <sup>みなみ</sup> 未菜実

東京医薬看護専門学校を卒業し、4月より恵信リハビリテーション病院に入職致しました。入職して数ヶ月が過ぎましたが慣れないことが続き己の知識、技術不足を痛感しております。しかしその分尚の事、より成長し多くの方を支えられるSTになりたいという思いが強くなりました。一つでも多くの知識を先輩方や患者様から学び、一人でも多くの患者様、ご家族様に寄り添えたらと思っています。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 施設紹介



医療法人久晴会 甲斐リハビリテーションクリニック 石垣 亮太

甲斐リハビリテーションクリニックには、常勤医師3名・PT9名・OT4名・ST1名が所属しています。当院は自宅で過ごしながらか通院してリハビリテーションができる場を提供したいという思いのもと「リハビリテーションクリニック」として運営しており、脳血管疾患や神経難病のリハビリをはじめ、小児分野や摂食・嚥下機能に対してのリハビリも行っています。



また、パーキンソン病をはじめとした、運動機能が低下してくる難病などに対して、外来リハビリと投薬治療を同時進行していくことができるのも当院の特徴です。最近では、嚥下に関する相談が増加しています。嚥下内視鏡検査場面に、家族や施設職員、ケアマネなどに同席してもらい、ディスカッションしながらアドバイスなどを行っています。クリニックという小規模で行っていればこそ、患者さんに丁寧に对应していくための時間的な調整などを行いやすいと感じています。





# 県士会 お仕事紹介

## 特別支援教育委員会

石和共立病院 市川 奈弥

山梨県では2013年から特別支援教育の推進のための取り組みを行っています。山梨県言語聴覚士会では、県教育委員会から依頼を受け、インクルーシブ教育推進事業へのSTの派遣を行っています。また、2015年に山梨県リハビリテーション専門職団体協議会が設立され、特別支援教育委員会が設置されました。

委員会の主な活動は研修会の開催です。研修会ではPT、OT、STの他に教諭、行政関係等の参加を呼びかけ、セラピストの専門性の向上と、教育・医療・福祉の支援体制をより一層高めることを目的としています。今年度も研修会を企画中です。STでは後継者育成が喫緊の課題です。小児分野の先生だけでなく、成人分野の先生方も研修会にぜひご参加ください。

### インクルーシブ教育推進事業

特別支援学校等教員の専門性向上及び特別支援学校のセンター的機能の強化を図るため、外部専門家チームの一員として、言語聴覚士が活躍しております。



### STの活動



#### 朝比奈 恵美 先生

インクルーシブ教育推進事業のPT等の専門家チームの一員として、週に1回、わかば・かえで支援学校に配置され、活動しています。訪問要請がある県内の支援学校、通級指導教室、支援学級を訪問し、相談対象児童の授業参観や行動観察、検査等の中でアセスメントを行い、先生方、保護者の方へのコンサルテーションと直接児童の指導を行っています。主な支援内容としては、発声・発語器官の機能訓練、構音障害（運動障害性、器質性、機能性）、吃音、言語発達、摂食、校内・地域研修会などです。先生方と連携を取りながら、日々の指導に役立つような支援ができるようにと心がけています。

#### 《活動場所》

わかば支援学校、かえで支援学校

他訪問支援（甲府支援学校、あけぼの支援学校、他小中学校の通級指導教室、支援学級）

#### 渡邊 そのみ 先生

2名のST（1名は非会員）で月20時間ずつ担当しています。1名は主にろう学校のセンター機能である「きこえとことばの相談支援センター」の仕事を担当して、きこえとことばの教室への訪問指導を、ろう学校の先生と帯同で行っています。もう1名は校内で先生方や寄宿舎スタッフへの支援を担当して、聴能研修会・発音発語研修会や、授業の見学をして、個別のアドバイスをしています。ろう学校では、学校見学とSTの仕事の見学が可能です。興味関心のある先生方、ぜひいらしてみてください。

#### 《活動場所》ろう学校

## 第1回 理事会議事録

日 時：令和6年4月5日（金） 19時00分～20時00分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、石垣、市川、桂川、佐々木、高橋、舟越、元木、吉澤、山田、河西

欠席理事：なし

<協議事項>

1. 令和6年度社員総会議案書の確認・修正が行われた。
2. 令和6年度役員および部員の確認が行われた。

## 第2回 理事会議事録

日 時：令和6年5月17日（金） 19時48分～20時00分

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、市川、桂川、佐々木、高橋、舟越、元木、山田、吉澤、河西

欠席理事：石垣

<協議事項>

1. 代表理事（会長）に赤池洋理事が選任された。
2. 副会長に赤池三紀子理事、中村清江理事、元木雄一郎理事が選任された。
3. 事務所を山梨県甲府市 甲府城南病院言語聴覚療法科内に移転することが決定した。
4. 令和6・7年度の役員（局長・委員長）・部員が決定した。

## 第3回 理事会議事録

日 時：令和6年6月28日（金） 19時00分～20時24分

出席理事：赤池(洋)、赤池(三)、中村、元木、市川、岡、佐々木、高橋、武井、中嶋、萩原、舟越、吉澤、桂川

欠席理事：山田

<協議事項>

1. 失語症全国大会 in ふくしまへ県士会から2万円、失語症全国大会 in やまなし実行委員会から10万円を協賛することが決定した。
2. 学術部の症例検討会は集合開催、基礎講座および学術講演会はオンライン開催とすることが決定した。
3. 令和6年度外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関して実態を調査することが決定した。
4. 災害時安否確認システム令和6年度第1回予行演習を、7月8日～15日の期間で実施することが決定した。

<報告事項>

1. ニュースレター58号の校正作業、HP更新状況について報告された。
2. 第18回JIMTEF 災害医療研修ベーシックコース第1回・第2回研修会への参加を予定していることが報告された。
3. インクルーシブ教育推進事業の実績、第1回インクルーシブ教育推進事業会議について報告された。
4. 令和6年度第1回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会の開催および甲府市へ失語症者向け意思疎通支援者を派遣したことが報告された。
5. 第4回山梨県リハ専門職合同学術大会運営委員会にて、大会テーマ、開催日時、開催形式、会場、特別講演、レセプション、大会誌の配

布方法、演題登録の状況について報告された。

6. 今年度の日本語聴覚士協会主催の失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修について、高橋理事、萩原理事を登録したことが報告された。

## 第4回 理事会議事録

日 時：令和6年7月26日（金） 19時00分～20時46分

出席理事：赤池(洋)、赤池(三)、中村、元木、佐々木、高橋、武井、中嶋、萩原、舟越、吉澤、桂川

欠席理事：市川、岡、山田

<協議事項>

1. 旧事務局保管物について、今後の保管場所を確認した。
2. 新卒者研修会について、障害別の講習は新入会員が少人数であるため、同一日程で複数の講習を行っていくよう検討していくこととなった。症例検討会は、原則偶数月第3木曜日で開催することとなった。また、12月以降の発表希望者がいないため、再募集することとなった。
3. 県士会リーフレットを新たに作成していくこととなった。
4. セキュリティ対策としてウェブサイトのSSL化を行うこととなった。
5. RUN 伴やまなし2024 啓発展示イベントブース出展について、認知症対策推進委員会と広報部が合同で対応することとなった。認知症サポーター養成講座について、スキルアップ講座を開催することとなった。
6. 第4回山梨県リハ専門職合同学術大会の査読委員について、査読者3名、査読委員長1名を選出し依頼することとなった。

<報告事項>

1. 税務署、銀行へ事務局・代表者変更手続きが完了していることが報告された。
2. リーフレットの修正および高校へのリーフレット送付の予定について報告された。
3. インクルーシブ教育推進事業（6月実績）について報告された。
4. 第15回訪問リハ・地域リーダー会議、第1回訪問リハビリテーション委員会について報告された。
5. RUN 伴やまなし2024 実行委員会主催事前説明会について、身延町地域包括支援センターより講師依頼があったことについて報告された。
6. 失語症友の会「ふじやま」第14回定例会、失語症者向け意思疎通支援者養成講習会スキルアップ研修への協力について報告された。
7. 第1回がん教育推進連絡会、山梨県がん教育外部臨牀研修会について報告された。
8. 自民党へ5点の要望事項を挙げていくことが報告された。
9. 臨床実習指導者講習会について、今年度は協会主催で臨床実習指導者養成研修会が開催され、当会からは元木副会長、桂川事務局長が出席する旨が報告された。
10. リハビリテーション・ケア合同研究大会について、5万円を寄付することが報告された。
11. リハビリテーション団体協議会普及推進委員会について、高橋理事、佐々木理事が担当することが報告された。

開催方法：オンライン会議および対面会議

議 長：赤池洋

書 記：石間戸香穂、河村有美、佐藤淳貴、望月智佳

議事録作成：桂川謙祐

## <各局・委員会からのお知らせ>

### 事務局

- ・会員動向（令和6年9月末現在）  
正会員数128名、賛助会員5団体
- ・休会届について 育児や介護、健康上の理由などの事情がある場合には、休会申請をしていただくことで年会費が免除となります。休会申請は、休会しようとする年度の前年度12月末日までに手続きを行っていただく必要があります。申請用紙は県士会 HP からダウンロードすることができます。ご不明な点は事務局（総務部 桂川 st2014@st-yamanashi.jp）までお問い合わせください。
- ・会費納入のお願い 年会費 10000 円を未納の方は、佐々木財務部長へご連絡いただくか、下記口座へお振込みください。ご協力をよろしくお願いいたします。

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

### 学術局

本年も Zoom を用いたオンラインでの実施が中心となります。症例検討会など一部の研修会は参集開催とし、顔の見える関係作りも再開しています。また今年度、ST 協会生涯学習プログラム基礎講座の内容が一新されました。多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

#### ○症例検討会

会場：Zoom で開催

日時：偶数月の第 3 木曜日

#### ○基礎講座

##### ・第 1 回基礎講座

会場：Zoom で開催

日時：令和 6 年 11 月 25 日（月）18：30～21：00

内容：「臨床実践」「言語聴覚士のキャリア形成」

講師：佐々木蘭子先生（春日居総合リハビリテーション病院）

元木雄一朗先生（甲州リハビリテーション病院）

##### ・第 2 回基礎講座

会場：Zoom で開催

日時：令和 6 年 12 月 2 日（月）18：30～21：00

内容：「言語聴覚士の倫理」「チーム医療のあり方」

講師：中嶋崇博先生（山梨県立中央病院）

武井徳子先生（甲州リハビリテーション病院）

##### ・第 3 回基礎講座

会場：Zoom で開催

日時：令和 6 年 12 月 9 日（月）18：30～21：00

内容：「職能団体の役割と言語聴覚士の責務」

「エビデンスに基づく臨床と（EBP）と研究法の基礎」

講師：赤池洋先生（山梨大学医学部附属病院）

中村晴江先生

### 社会局

<渉外部>7月に実施しました「外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査」へのご協力をありがとうございました。最新の情報をホームページに掲載しておりますので、日々の業務や医療・介護連携の際にご活用いただければ幸いです。<広報部>RUN 伴やまなし 2024（9月21日イオンモール甲府昭和さくら広場）にて、イベントブース出展いたしました。週末のイベントでしたので、たくさんの方がブースに立ち寄っていただきました。一般の方々に言語聴覚士の専門性・活動などの魅力を伝える広報活動を推進していきます。

<会報編集・ホームページ管理部>当士会ホームページでは、トップページ上段に掲載する写真を会員の皆様から募集しています。各部・各委員会の活動の様子や集合写真、また山梨県の名所や季節にちなんだ写真などを掲載しますので、奮ってご応募をお願いいたします。

### 地域リハビリテーション委員会

今年度も、地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成研修会日本言語聴覚士協会初期研修の開催を予定しております。一度、受講された方も再受講可能として開催する予定ですので、ぜひご参加いただければと思います。日程は決まり次第、ご連絡いたします。

### 「ふじやま」運営委員会

今号は失語症友の会「ふじやま」を 4 ページにわたって紹介させていただきましたが、楽しんでいただけたでしょうか。今年度は全 3 回の定例会を企画しており、今年度 3 回目になる第 16 回定例会は年明け 1～2 月に開催を予定しています。ぜひ一度、定例会に遊びに来ませんか？

### 災害対策支援委員会

災害対策支援委員会では災害時安否確認システム第 1 回予行演習を令和 6 年 7 月 8 日～7 月 15 日に開催しました。第 1 回予行演習では 84 名の会員の皆様に参加していただきありがとうございました。第 2 回予行演習を令和 6 年 11 月頃に開催予定としていますので、引き続きご協力をお願い致します。

やさしい聴こえのお手伝い

- 認定補聴器技能者在籍
- 補聴器の無料体験
- 支援法補聴器取り扱い

認定補聴器専門店  
**なかだて補聴器センター**

甲府店 ☎0120-29-3321 玉穂店 ☎0800-800-8173  
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 T-ウエスト

**ジェントル スティム**

リハビリテーションのための  
新たな電気刺激装置

痛くない療法  
感覚刺激  
使いやすい

おいしいもくもくごっくん  
**foodCare JAPAN** TEL: 042-700-0039 www.food-care.co.jp

**morinaga**

とろみ調整食品  
**つるりんこ**  
シュワシュワ

飲み込みにくいと感じる方が  
おいしく、楽しく炭酸飲料を摂取するために

コーラ ノンアルコールビール シンジャーエール 果汁系炭酸飲料 無糖炭酸飲料

森永乳業クリニコ株式会社 ☎0120-52-0050  
受付時間：平日 09:30～17:00  
(土日祝日・年末年始・5/1 除く)

**Pepti-Sal** 唾液のチカラで健康と笑顔を  
Oral Health for Everyone

デリケートなお口をやさしくケアし  
お口の環境を健康に保ちます

Pepti-Sal (ペプチサル) とは  
「Peptide (ペプチド)」+「Saliva (唾液)」の造語。  
唾液のチカラに着目して開発された  
低刺激性のオーラルケア製品です。  
要介護の方の口腔ケアにもおすすめです。

Pepti-Sal MouthGel Pepti-Sal Mouthwash Pepti-Sal Toothpaste

2週間未満 ペプチド配合 乳酸菌配合 保湿成分配合 pH中性感 無香料配合 アレルギー対応品 パラベン無配合

T&K ティーアンドケー株式会社 〒103-0012 東京都中央区新富町1-5-7  
TEL: 03-5646-0233 FAX: 03-5646-0232 www.comfort-tk.co.jp

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。

**Atos** Atos Medical Your voice

株式会社アトスメディカルジャパン  
〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F  
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890  
info.jp@atosmedical.com

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会  
<発行人> 赤池 洋  
<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 社会局会報編集・HP 管理部

石和温泉病院：高橋 正和  
甲府城南病院：吉澤 由香、秋山 仁哉、飯島 七海

訪問看護ステーション洗心：岡 大樹  
甲府リハビリテーション病院：海野 友希  
石和共立病院：菊原 悠雅  
山梨リハビリテーション病院：古西 叶佳  
春日居総合リハビリテーション病院：志摩 美月  
湯村温泉病院：高木 建汰

<事務局> 医療法人慈光会 甲府城南病院 言語聴覚療科内  
〒400-0831 甲府市上町753-1  
<発行日> 2024年11月1日 第59刊

編集後記

今年は能登半島地震から始まり、最近では南海トラフ地震の発生する可能性が高まった日向灘の地震や台風10号による災害がありました。まずは、被災された皆様、また、ご家族・関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

「天災は忘れた頃にやってくる」と言いますが、常日頃から災害を意識した生活は難しいものですので、事前に防災バックの用意や自宅・職場周辺のハザードマップや避難場所の確認をするなど、まずは自分の身の安全を守るための準備はしておきましょう。

さて、今号の注目は「ふじやま7年目を迎えて」になりますので、是非熟読していただければ幸いです。  
(岡 大樹)